

今、災害が起こったら?!
いつかではなく今備える

障害のある人と 家族のための 防災講座



手話通訳
あり

～災害時に支援から取り残されないために～

東日本大震災では障害のある人の死亡率は、住民全体の死亡率の2倍に上ったことが明らかになっています。障害に起因する課題として、急激な環境変化への対応が困難で避難所での生活ができない、支援状況が行きわたらないなどもあり、障害のある人の日常を取り戻すことが急務です。障害のある人が直面する現状を被災地支援の最前線にいる「難民を助ける会」の活動から教えていただきます。

日時 3月13日(金) 13時～
14時30分

※14時30分から15時まで個別の質問にお応えします。

会場 稲城市福祉センター

対象 障害のある人・家族、防災に関心がある人

内容 災害時の障害児・者が置かれる状況について

講師 認定NPO法人 難民を助ける会 高木 卓美 氏



熊本地震（2016年）、九州北部豪雨（2017年）、西日本豪雨（2018年）の発生直後から現地入りし、障害者施設を中心に支援。復興支援にも尽力。昨年10月の台風19号で被害を受けた福島県阿武隈川流域の障害者に現在支援を継続中。

申し込み 電話またはメールでお申し込みください。

申し込み・問い合わせ 社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会
ボランティアセンター（地域福祉係）
電話 042-378-3800 メール vc@inagishakyo.org